

WBF 千里シリーズ
2016 杉原陽一

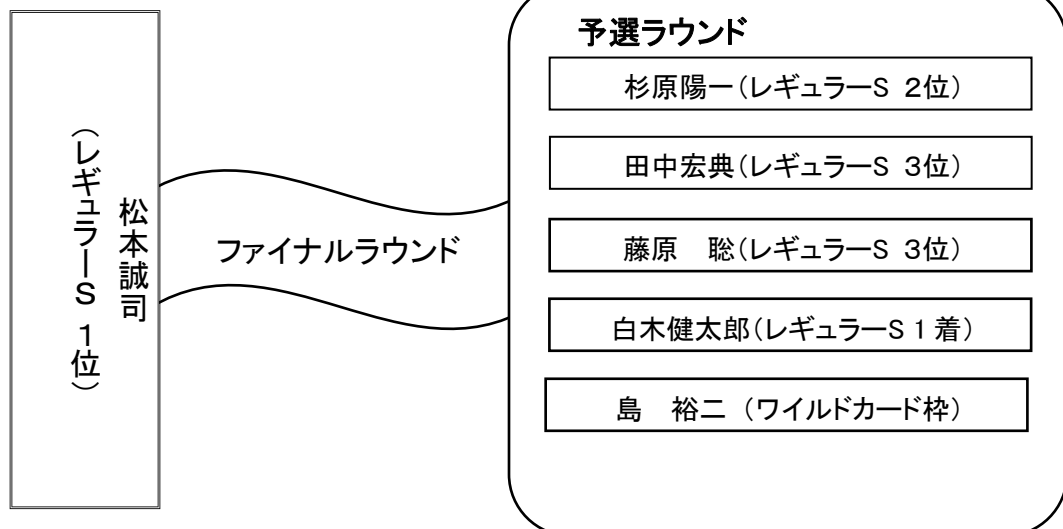
17年ぶりの因縁対決制す！

記：ジョー・タカミ

◆序章◆

今年度の WBF 王者を決める第28回千里シリーズは、10月15日(土)ピースボウル豊中曽根にて開催された。

レギュラーシーズン総合優勝の松本誠司選手が5年ぶりにシリーズを制するのか。はたまたここ数シーズンの傾向である予選ラウンド勝者が勢いのまま勝利するのか。目の離せない戦いをレポートする。



(次ページに続く)

◆予選ラウンド◆

7ストライクで杉原選手ファイナル進出！

松本誠選手の対戦相手を決める予選ラウンドには杉原陽一、田中宏典、藤原聡、白木健太郎、島裕二の5選手が出場。白木選手と「関東軍の秘密兵器」田中宏選手は東京からの遠征。予選ラウンドに有資格者が全員出場するのはシリーズ史上初だ。

【第1ゲーム】

2年ぶりのシリーズ制覇を狙う杉原選手は7ストライクで208点(素点 216点)で暫定トップ。藤原選手が193点(素点158点)、田中宏選手が176点(素点168点)で追う。

【第2ゲーム】

杉原選手の好調ぶりはこの試合でも続き、193点(素点201点)をマーク。他の選手たちは初戦の杉原選手のスコアに圧倒されたのかテンション下がり気味。白木選手が175点(素点182点)を出すのが精いっぱいだった。

杉原選手は他を寄せ付けない強さと安定感でこの予選ラウンドを制し、シリーズ進出を決めた。

2016千里シリーズ 予選リーグ

選手	最高点	競技点	
杉原陽一	216	208	選出
藤原聡	158	193	
田中宏典	168	176	
白木健太郎	182	175	
島裕二	135	169	

杉原選手がファイナル進出

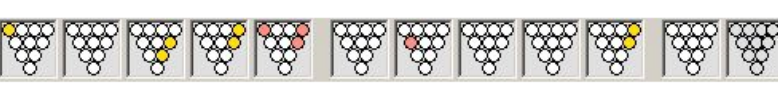
(次ページに続く)

◆ファイナルラウンド第1戦◆

松本誠選手 ノーステップ投法で先制！

千里シリーズにおける両者の対決はなんと17年ぶり。前回(1999 年)は松本誠選手が4勝0敗で勝利している。

一時は腰の不調でシリーズ出場が危ぶまれた松本誠選手だったが、シリーズ用に取り組んだノーステップ投法が功奏。5ストライク4スピアの178点(素点178点)で先制。一方の杉原選手は第1、第3フレームのスピアミスが大きく影響。第4フレーム以降持ち直すも151点(素点159点)。

												
松本誠司 (シーズン優勝)	9 / 20	* 40	8 / 58	8 / 75	s7 - 82	* 101	9 - 110	* 138	* 158	8 / * 178		0 178
ハンデ込み 得点差⇒	↑18	↑21	↑30	↑27	↑15	↑18	↑7	↑15	↑18	↑27	1勝	HDCP 競抜点
杉原陽一 (シーズン2位)	9 - 9	9 / 27	8 1 36	* 56	7 / 75	9 / 91	6 / 111	* 131	9 / 150	9 - 159		-8 151
												

◆ファイナルラウンド第2戦◆

杉原選手、松本誠選手にシリーズ初勝利！

連続ストライクで発進した杉原選手に対して松本誠選手はスペアを着実に重ね、第3フレームで杉原選手を逆転。松本誠選手はこのままこのゲームを制し王手をかけたいところ。しかし第4フレームで非情のスプリット。ミラクルに賭けたがピン2本を残す。これでゲームの流れは再び杉原選手に。杉原選手は安定した投球で192点(素点200点)をマークし、松本誠選手に対して千里シリーズ初勝利をおさめた。

松本誠司 (シーズン優勝)												
	8 /	9 /	9 /	s6 2	7 /	*	8 /	9 /	*	s8 1		0
ハンデ込み 得点差⇒	19	38	54	62	82	102	121	141	160	169	1勝	HDCP 競技点
杉原陽一 (シーズン2位)			↑5									
	↓2	↓2		↓6	↓5	↓5	↓16	↓23	↓23	↓23		
	*	*	9 -	9 /	9 /	9 /	*	*	*	s7 2		-8
	29	48	57	76	95	115	145	172	191	200		192

◆ファイナルラウンド第3戦◆

杉原選手、連勝で王手！

1勝1敗でさらに盛り上がる千里シリーズは第3ゲームに。

第2ゲームで復調した杉原選手は4ストライク5スピアで183点(素点191点)。対する松本誠選手は安定性を欠く。第7フレームで痛恨のガーター。要所要所でのスピアミスもあり3ストライクも活かせず、133点(素点133点)。杉原選手は連勝でシリーズ制覇に王手をかける。杉原選手がこのまま押し切るか、はたまた松本誠選手が意地をみせるのか。

松本誠司 (シーズン優勝)												
	8 1	9 -	8 1	9 /	*	9 /	G 8	*	8 1	s8 / *		0
ハンデ込み 得点差⇒	9	18	27	47	67	77	85	104	113	133		133
杉原陽一 (シーズン2位)	↑8										1勝	HDCP 競抜点
		↓2	↓13	↓21	↓21	↓30	↓41	↓42	↓53	↓50		
	5 3	*	8 /	*	*	8 /	9 /	9 /	*	9 / s7		-8
	8	28	48	76	96	115	134	154	174	191		183

◆ファイナルラウンド第4戦◆

杉原選手 17 年前のリベンジ果たしシリーズV！

このゲーム松本誠選手が先行する。第4フレームまで杉原選手に競技点で9点差。しかし第5フレームでスペアミス。逆に杉原選手はきっちりスペアを決め逆転。その後両者譲らずの展開だったが、第9フレーム松本誠選手がスプリット。これをカバーできなかった松本誠選手に対して杉原選手はストライクを決め逃げ切った。

杉原選手は3勝1敗で松本誠選手を下し17年前のリベンジを果たした。杉原選手の千里シリーズ制覇は2年ぶり7度目。

松本誠司 (シーズン優勝)	*	9 /	7 2	*	8 1	*	8 /	7 1	s7 2	9 -		0
	20	37	46	65	74	94	111	119	128	137		137
ハンデ込み 得点差⇒	↑10	↑18	↑7	↑9							1勝	HDCP 競技点
杉原陽一 (シーズン2位)	8 /	8 1	*	9 /	7 /	*	8 /	s8 1	*	9/7		-8
	18	27	47	64	84	104	122	131	151	168		160

激闘を終えて…

松本誠1(●○○○)3 杉原

9度目のシリーズ制覇を目指したが…
松本誠司選手

腰痛対策のため始めたノーステップ投法が身についてしまって普通の投げ方ができなくなった(笑)

(来季は)ハンデも下がるしキツいかな。今年勝ちたかった。



17年ぶりの一戦を制した杉原陽一選手

前は4タテをくらったのでまず1勝が目標だった。

好調で試合に入れた。自分のボウリングをしていけばスコアはついてくると思ったので松本誠選手の存在は気にならなかった。

(来季は)さらに上を目指す。WBFを盛り上げたい。

千里シリーズ過去の戦績

	1989	松本誠司	4(○○○●○)	1	松本昌士	
	1990	奥山満夫	4(●●●○○○)	3	下永義久	
※1	1991	松本誠司	4(○○●○○)	1	島裕二	
	1992	松本誠司	4(○○○○)	0	島裕二	
	1993	松本誠司	4(○○○○)	0	田中寿美子	
	1994	松本誠司	4(●●●○○○)	2	島和男	
	1995	白木建太郎	4(●○○○○)	1	田中久	
	1996	野村正明	4(○○●●△●○)	3	松本誠司	
	1997	杉原陽一	4(○○○○)	0	松本香代	
	1998	松本誠司	4(○●●○○○)	2	白木建太郎	
	1999	松本誠司	4(○○○○)	0	杉原陽一	
	2000	白木建太郎	4(○○○○)	0	岩田修一	
	2001	杉原陽一	4(○●●●●○○)	3	ロバート・K	
	2002	白木建太郎	4(●●○○○●○)	3	松本誠司	
※2	2003	松本昌士	3(○●○○○)	1	松本誠司	◆
	2004	◆ 白木建太郎	3(○●●○○△○)	2	松本昌士	
	2005	松本昌士	3(○○○)	0	白木建太郎	◆
	2006	岩田修一	3(●●○○○○)	2	松本誠司	◆
	2007	◆ 杉原陽一	3(○●●●○)	2	奥山満夫	
	2008	奥山満夫	3(○●○○○)	1	島和男.com	◆
	2009	◆ 杉原陽一	3(●○○○)	1	奥山満夫	
	2010	白木建太郎	3(○○●○)	1	杉原陽一	◆
	2011	◆ 松本誠司	3(○○○)	0	藤原聡	
	2012	馬場毅	3(●○○○○)	2	白木建太郎	◆
※2	2013	杉原陽一	3(○●○○○)	1	馬場毅	◆
	2014	杉原陽一	3(○●●○○△○)	2	馬場毅	◆
	2015	城戸秀行	3(○○○)	0	白木建太郎	◆
	2016	杉原陽一	3(●○○○)	1	松本誠司	◆

※1 島裕二が前後期制覇をしているため、総合優勝は島裕二と記録。
特別企画の「千里G1クライマックス」として開催。

※2 2003年以降、千里シリーズの実施方式が変更。3勝先取で優勝。
◆はレギュラーシーズン優勝